

記 者 会 見
3・11・22
資 料 3

未来を拓く教育プロジェクトを推進 「地方教育アドバイザー」を招聘

本市では、教育水準の改善向上を更に推し進め、「令和の日本型教育」への転換を図り「誰もが輝く暮らしよい都市^{まち}」の実現を目指しています。

この取り組みの一環で、文部科学省から地方教育アドバイザーの派遣を受け、子どもたちや保護者のほか、地域や教職員にとって、魅力ある学校教育を実現する環境づくりをより一層推進します。

1 内容

(1) 制度の概要

地方教育アドバイザーは、文部科学省の職員を自治体の教育委員会のアドバイザーとして選任し、相談窓口をはじめとした支援体制を構築する制度です。文部科学省職員が、信頼関係を構築してきた自治体と共に教育行政を一層推進していくことを業務として認め、文部科学省として支援するものです。

(2) 今後のスケジュール（予定）

- 1 1月9日 文部科学省に派遣申請
- 1 1月下旬 正式決定
- 1 2月1日 アドバイザーによる支援開始

(3) 実績

全国では3例目で、県内では初めてとなります。

2 今後の取り組み

(1) 体制の整備

首長や教育長等が示す方向性を踏まえた計画の策定や施策の企画立案に係る助言をはじめ、先進モデル事業等の情報提供や他の市町村における好事例等の紹介を受け、教育施策の推進につなげます。

(2) 教育デジタルトランスフォーメーション^{*}の導入

国が現在進めているDXの動きを教育分野にも大きく導入し、教職員の多忙化解消による子どもと向き合う時間の確保はもとより、地域、あるいは地域外も含めたコミュニティによる学びの機会を増やし、多くの大人が子どもに関わる体制を整備することで、グローバルに未来を先導する個別最適で協働的な学びの環境の創造と実践を目指します。

※教育デジタルトランスフォーメーション

タブレットや学校へのWi-Fiなどの導入によるオンライン授業や、パソコン上でのペーパーレステストのほか、これらから得られるデータを活用した教育など、デジタルを駆使した教育システムの総称のことです。

(3) 地域の核になる学校づくりの推進

教育全体をコミュニティの視点から俯瞰的にとらえ、園小中一貫教育やコミュニティスクール等の施策を推進するため、文部科学省のネットワークを通じて民間企業や大学等との連携を更に強化し、「誰もが輝く暮らしよい都市^{まち}」として子育て施策の充実につなげます。

3 実施の経緯について

本市では、今年度より埼玉県教育委員会と協定を結び、非認知能力の育成に着目した「埼玉県学力学習状況調査」を活用し、授業改善を推進してきました。

この取り組みをきっかけに、昨年度から文部科学省総合教育政策局教育DX室より調査官をお招きし、研修会や情報交換を重ねてきた結果、本市の取り組みが評価され、アドバイザーによる支援を受けられることとなりました。



非認知能力の育成に関する研修会

問い合わせ

教育指導課学習支援担当 電話0463(84)2786